

中田かわら版 9 月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

泉区制 40 周年記念式典を迎えるにあたり

泉区制 40 周年記念式典 部会長

中田連合自治会 副会長

中田地区経営委員会 委員長

井上 昌司

昭和 61 年に戸塚区から分区して発足した泉区は、本年 11 月 3 日に区政 40 周年を迎えます。「泉が湧き出るように、若い活力を生み出しながら発展するように」との願いを込めて命名された「泉区」を更に次世代にも誇れる「心のふるさと」となる式典の基本コンセプトは、「地域循環共生圏」の形成であります。

自然界も人間も多様性を以て、公平で開放的な文化社会を目指すことによって、人を思いやり人と結び合い 互いに尊重し合い そして自然を大切にする人たちとなり、きっとこの人たちがこの美しい地球を救える人間になれるのだと思います。そして、式典では自然との共生 地球温暖化対策 地産地消 持続可能な循環型社会の主体的な取組みを 21 世紀の主役となる若者たちに演出して頂きます。

40 年の絆を力に情に厚く義を重んじる心豊かな町であり続ける願いを込めて第 2 部のオープニングは、県立松陽高校の書道パフォーマンスです。学生達が踊りに合わせて自分達の思いを書道に託す表現力は圧巻です。続いて小学生の作文コンクール受賞者の朗読は、きっと大人社会にこども達の思いが届くことでしょう。次に泉区唯一の大学でありますフェリス女学院大学の学長と学生が「地域循環共生圏」をテーマに話されます。その中に中田地区経営委員会で発足したサーキュラーイエロープロジェクトを取り上げて発表致します。このプロジェクトは、泉区内の休耕地や空地・公園・学校・幼児施設などで障がい者や高齢者など地域のあらゆる世代の参画によって、菜の花と向日葵を栽培する活動を広げることで CO2 の削減と地域の景観向上、賑わいつくりに寄与し開花後はそれぞれの種から油を搾り、区内の家庭から出る廃食油の回収と併せてバイオマスとして様々な用途で有効活用致します。

このような思いを受け止めてフィナーレでは、歌の力で会場を一体にさせるライブステージを企画しています。脱炭素キャンペーンソング「熱い世界」をカントリーウエスタン歌手杉はじめさんの歌に合わせて泉区内の幼稚園児・保育園児がダンスパフォーマンスを披露致します。区民の財産である次世代の若者たちと大いに盛り上がり心に残る記念式典にして、来年の GREEN×EXPO 花博にも繋がたいと考えています。

記念式典は、11 月 3 日（火）泉公会堂にて 12 時の開式予定です。当日は是非とも皆様方のご来場を心よりお待ちしております。

新生 中田地区社会福祉協議会

地域活動の輪を広げ、コミュニケーション力を高めた
安全・安心な街づくりを目指します新体制でスタート

中田地区社会福祉協議会は本年度、会長に中谷英二さん、副会長に山上洋美さん、佐々木克裕さん、中村知行さんの3人が就任、新体制で活動がスタートしています。中谷会長、佐々木、中村両副会長は地区社協の活動自体が初めてのフレッシュな布陣。子育てサロンに長年取り組むなど社協活動を熟知した山上さんが副会長となつて、ベテランの事務局長、長谷繁さんとともに、すそ野を広げた執行部の新たな活躍が期待されます。



中谷英二会長

この度、中田地区社会福祉協議会の会長となりました中谷です。

これからの職務をどの様に遂行していくかを副会長、事務局長、各部署長の意見を聞き、時流に乗り遅れないタイムリーな方策を実践していきたいと考えております。

山上洋美副会長

こんにちは、この度副会長を務めさせていただく、山上洋美と申します。

社協に入り6年になり、子育てサロンのボランティアとしては17年になります。日頃から活動を支えてくださっている地域ボランティアの皆様とご参加いただいている方々一緒に、笑顔と笑いのたえない楽しい活動をしていきたいと思ひます。宜しくお願いいたします。



佐々木克裕副会長

皆さま、初めまして。今年度から中田地区社会福祉協議会の活動のお手伝いを行うことになりました。これまでに社協の活動経験は無く、右も左も分からない状況ではありますが、中谷新会長のもとで周囲の方々からのアドバイスや協力を受けながら、微力では有りますが、活動に尽力したいと思ひております。どうぞよろしくお願いいたします。



中村知行副会長

副会長を務めさせていただく、中村知行<山神前>です。町内会活動では、環境事業推進委員を9期務めており現在中田地区環境事業推進委員連絡協議会の会長をしています。社協の活動は初めてですが、少子高齢化が進む中、地域での支え合いや助け合いの大切さはますます高まっていますので、会長をはじめ役員の皆様、地域の皆様と力を合わせて取り組んでまいります。

編集後記

二百十日、二百二十日、9月は台風が多く発生する月と思われていた。今は世界的に偏西風の蛇行で、台風は冬の1月から発生していて2桁に突入した。思えば子どもの頃の様子とは大いに違ってきている。夏休み期間も、30℃を超えることはまれであつて、夏の気温は10℃も上昇している。そんな猛暑の中、熊本では10年前と同じような大地震に見舞われ何とも気の毒な事が起きている。暑さの中被災された方々の健康を唯々願っている。 小島 敏子

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本 正

編集委員；小島敏子、田中 進、河内満明、松本純子、鈴木賀津彦、嶋 宏之